

1 単元名 知らせたい！屋久島の自然の「見力」「美力」

2 単元の目標

- レンジャー体験を通して、屋久島の豊かな自然や、動植物の魅力、それらに従事する人々の思いや願いを知るとともに、それらの抱えている課題を自分事として捉え、友達や地域の方等など他者と協働しながら、課題解決に向け取り組み、そこで学んだ魅力や課題・自分たちの活動を伝えることができる。

3 単元について

(1)教材観

本単元では、「屋久島のみ力～栗生塚崎海岸～」（海の魅力）、「屋久島のみ力～西部地域～」（森の魅力）、「屋久島のみ力～自分たちにできること～」を小単元として取り上げる。本校の保護者にはESDアドバイザーや山岳ガイドなど、屋久島の自然の魅力を学ぶ上での人材が揃っている。

また、環境省屋久島自然保護官事務所のアクティブレンジャーの方の授業を通して、屋久島の魅力や抱えている問題などを、体験活動を通して五感で感じることができる。この活動が、屋久島の抱える様々な課題を、児童が自分事として捉えることができるよい機会となっている。

(2)児童観

本学級の児童は、第3学年において、「知らせたい！屋久島の自然・タンカンの『見力』『美力』『味力』」の学習を通して、校区の自然や特産であるタンカンについて学習してきた。特に、特産品であるタンカンのフードロス問題について、児童一人一人が高い関心を示し、自分達に何ができるかを考え、様々な実践を通して自分たちの校区の魅力を体感し、それらをまとめ、地域の方に発信することができた。

身の回りの課題を見つけ、友達との対話を通して考えを具体的に実践することができたりするこの期に、本課題を取り上げる意義は大きい。

(3)指導観

本単元の指導に当たっては、まず、屋久島町のESDアドバイザーであり、本校の保護者でもある杉下氏を学校に招き、ESDの基礎について学ぶことで、これからの学習の見通しをもったり、考える観点をもたせたりする。

次に、環境省屋久島自然保護官事務所のアクティブレンジャーの水川氏をゲストティーチャーとして招き、国立公園や世界遺産について学習し、これからの活動内容の見通しをもたせる。

6月には、レンジャー体験活動として栗生塚崎海岸に行き、児童にレンジャーとして海岸の生き物調査を体験させることで、自然を守る取り組みについて理解を深めるとと

もに、起きている問題や課題に気付かせ、そのために何ができるかを考えさせる。また、動植物の観察を通して、生き物に対する関心や探究心を育むとともに、屋久島国立公園の豊かな自然を体感させる。さらには、栗生塚崎海岸が国立公園に指定された理由を考えさせることで、海の中にも素晴らしい自然があることに気付かせるとともに、「決まりごと」があって国立公園の自然が守られていることに気付かせる。

その後、再びアクティブレングジャーの水川氏をゲストティーチャーとして招き、屋久島で自然を守っている仕事の内容、屋久島で起きている問題等について学習し、児童がレンジャー体験をとして、どのような活動をするのか見通しをもたせる。

10月には、レンジャー体験活動として国立公園の中でも特に自然性の高い特別保護地区に指定されている西部地域に行き、様々な行為が法律で規制され、さらに専門家意見を聴いて作成された西部地域ルールがあることを知ることで、自然を守る仕組みについて理解を深めるとともに、法律だけでなく、一人一人のマナーで自然が守られていることに気付かせる。また、野生動物の観察及び糞の内容物の観察から、森林における野生動物の役割や生態について考えるとともに、林床植生の観察から、西部地域で起きているシカ問題についても考えさせる。

これらの体験活動を踏まえ、アクティブレングジャーの水川氏をふるさと先生として招き、これまでの活動のまとめをさせる。児童が自分達の活動を通して考えた課題を出し合い、伝えたい内容・相手・方法等を考えさせる。

まとめとして、児童それぞれが考えた発信方法で、これまでに学んだこと発表させる。その際、昨年度から交流している屋久島と同じ時期に世界遺産に登録された白神山地がある秋田県の藤里学園の4年生児童にオンラインで発表を見てもらい、意見や感想をもらうことで、内容を見直し、さらに深めていくようにする。最後に単元をとおして、「国立公園、世界自然遺産のすばらしさを再確認でき、屋久島にはたくさんの魅力があることを知ることができた」か、「今ある環境を守っていくためにたくさんの人たちが関わり、活動していることがわかった」かを確認し、これからの活動につなげていくようにする。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…自分達が住む屋久島の自然は動植物の共生によって成り立っており、その自然が私たちの生活を豊かにしてくれている事に気付く。

責任性…レンジャー体験等で学んだことを、屋久島の自然を守っていくために発信していきたいという心を養う。

公平性…豊かな自然が後世にも受け継がれ、未来の私たちや屋久島の動植物にとっても共生できる・生活できるような海であるために自分たちにできることを考える。

・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

他者と協力する態度

…友達と協力して動植物について調べたり、アイデアを出し合ってどのように発信したりするかを考えることができる。

コミュニケーションを行う力

…友達や教師，地域の方やゲストティーチャーとの意見交流を通して自分の考えを深め，自分の周りの自然を守るためにできることを考えることができる。

批判的に考える力

…自分たちの動植物との関わりを振り返り，課題を見つけ，改善方法を考えることができる

長期的思考力

…持続可能な自然の環境保護について考え，未来の屋久島の自然の生態系や私たちに豊かで美しい自然を受け継ぐために自分たちにできることを考える。

・本学習で変容を促すE S Dの価値観

世代間の公正

…美しい自然を未来に受け継ぐために，自分にできることを考える。

自然環境・生態系の保全を重視できる

…屋久島の環境問題について自分事化して考え，それらの生態系の保全についても考慮することができる。

・達成が期待されるSDGs

1 1 住み続けられるまちづくりを

1 5 陸の豊かさを守ろう

1 7 パートナリーシップで目標を達成しよう

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
① 屋久島に生息している生き物や植物，それらの特徴や問題や，自分たちとの繋がりについて理解している。 ② 学んだり，調べたりして獲得した知識を，言葉や図，絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身に付けている。	① 資料や講話，体験活動から課題を見出し，屋久島の自然を守るためにできることを考えている。 ② 屋久島の自然について学んだことや考えたことを自分が考えた手段でまとめ，表現している。	① 屋久島の自然を守りたいという目的意識をもち，意欲的に他者と関わろうとしている。 ② レンジャー体験を通して，地域の自然について知り，自分にできることを模索しようとしている。 ③ 神山の自然について学んだことを，地域の方や観光客に納得してもらえるように発信しようとしている

5 単元の指導計画（全20時間）※小単元「屋久島のみ力～自分たちにできること～」

学習活動	学習への支援	評価・備考
<p>1. これまでの学習を生かして自分たちにできることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗生塚崎海岸 ・西部地域 ・ゲストティーチャーやESDアドバイザー，アクティブレンジャーの話 <p style="text-align: right;">（4時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習から，海や森林における野生動物の役割や生態について考えるとともに，西部地域で起きているシカ問題やゴミ問題について想起させる。 ・ESDアドバイザーの水川氏をゲストティーチャーとして招聘する。 	<p>ア①② イ① ウ②</p>
<p>2. 屋久島の課題をもとに，自分たちにできることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全 ・動物保護 <p style="text-align: right;">（4時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して，なぜそのような課題が生まれるのかについて考えられるようにし，その解決に向けてできることはないか助言する。 	<p>イ①② ウ②</p>
<p>3. これまでの活動を整理し，伝えたい内容・相手・方法等を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋久島の自然，生き物，問題などについて ・地域の方々や観光客など ・ポスター，動画，QRコードなど <p style="text-align: right;">（4時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこで，誰に，どのような目的で見ってもらうのかをいうことをはっきりとさせ，目的意識をもって書けるようにする。 ・資料やPCを使って，調べたことをまとめる。その際，ロイロノートを活用し，情報をお互い共有する。 ・動画に関しては，保護者の許可も取る。 	<p>ア② イ②</p>
<p>4. ロイロノートやパワーポイント，新聞，パンフレットなどにまとめ，発信する。</p> <p style="text-align: right;">（7時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・藤里学園（秋田県）の4年生に，オンラインで発表を聞いてもらう。 ・学習発表会で保護者や地域の方に発信する。 	<p>イ② ウ①③</p>
<p>5. 活動を振り返ろう。</p> <p style="text-align: right;">（1時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の活動だけで終わらないよう，これからの生活にも目を向けられるようにする 	<p>ア①</p>